

日本核磁気共鳴学会機関誌投稿規程

日本核磁気共鳴学会機関誌（NMR学会誌）は、主にNMRに関する情報を公開し、会員の皆様の学術交流を目的とした会員サービスを提供します。NMR学会誌では、学会依頼記事、学術記事、NMR学会報告を掲載します。会員の皆様からは、学術記事、および、NMR学会報告の投稿を歓迎します。投稿原稿の採択の可否は、編集委員の査読結果をもとに編集委員会で決定します。掲載された著作物の著作権は、本学会に帰属するものとします。

原稿は下に示す原稿作成要領を参考に作成し、NMR学会ホームページのトップページ (<http://www.nmrj.jp/index.php>)にあるNMR学会誌ページの原稿投稿フォームから投稿して下さい。図や表を他の文献から引用して使用する場合には、投稿前に著作権所有者から使用許可を得た上で、原稿投稿フォームから原稿と共に使用許可書（PDF）を提出して下さい。

原稿の分類

● 学会依頼記事（会長メッセージ、巻頭エッセイ、等）

・会長メッセージ

NMR学会会長からのメッセージ。2000字以内、1ページ。

・巻頭エッセイ

主にNMR討論会特別講演者からの寄稿。NMR学会、NMR討論会との関わりなどについてのエッセイ。2000-4000字、1-2ページ（図表を含む）。

● 学術記事（研究論文、総説論文、NMR講座、等）

・研究論文：研究報告

会員が単著あるいは共著（非会員でも可）で投稿するオリジナル研究報告。6000-12000字、3-6ページ（図、表を含む）。

・総説論文：解説

著者の研究成果および関連分野の現状の分かりやすい解説。8000-16000字、4-8ページ（図、表を含む）。

・総説論文：トピックス

数年以内に発展した新しいNMRの展開についてのミニレビュー。4000-8000字、2-4ページ（図、表を含む）。

・総説論文：技術レポート

NMRの装置や測定方法の開発に関するレポート。4000-8000字、2-4ページ（図、表を含む）。

・総説論文：NMR便利帳

NMR実験に便利な装置（ハードウェア）や実験方法・解析（ソフトウェア）の工夫、安全衛生（磁場、高圧、高電圧、酸欠、毒物劇物）などに関する分かりやすい解説。4000-6000字、2-3ページ（図、表を含む）。

・ NMR 講座：NMR 基礎講座

主にNMR 討論会のチュートリアル講演者などによるNMRの基礎の解説。4000-10000 字、2-4 ページ (図、表を含む)。

● NMR 学会報告 (学会顕彰、会員便り、等)

・ 会員便り：海外学会参加報告

主に、若手研究者渡航費助成金受領者による寄稿。NMR ニュースレターとして公開される報告書でも可。会員からの寄稿も歓迎します。2000-4000 字、1-2 ページ (図、表を含む)。

・ 会員便り：NMR 研究室便り

主にNMRを使って研究を行っている大学や公的機関、企業の開発室が、研究テーマ、構成員、特徴など、研究室の内容を紹介する。2000-6000 字、1-3 ページ (図、表を含む)。

・ 会員便り：若手NMR研究会便り

若手NMR研究会の主催者による研究会報告、参加者の報告、講演者の要旨の寄稿。4000-8000 字、2-4 ページ (図、表を含む)。

原稿作成要領

・ 和文は明朝体、英文は Times のフォントを用い、表題は 14 ポイント、本文は 12 ポイントで、doc または docx ファイルで作成してください。

・ 原稿は、表題、執筆者氏名・所属、本文、引用文献、表、図の順番にまとめ、1つのファイルとして提出して下さい。

・ 巻頭エッセイ、解説、トピックス、研究報告、NMR 基礎講座、技術レポート、NMR 便利帳の執筆者は、略歴と顔写真のファイルを提出してください。

・ 図は、TIF, JPG, PDF ファイルで 600 dpi 以上の解像度で作成してください。

・ 図、表には、番号を付すと共に、それぞれの説明を記入してください。

・ 引用文献は、次を参考にして書式を統一して下さい。

[1] Javkhlantugs, N., Naito, A. & Ueda, K. Molecular dynamics simulation of bonbolitin II in the dipalmitoylphosphatidylcholine membrane bilayer. *Biophys. J.* **101**, 1212-1220 (2011).

[2] 内藤 晶, 光センサータンパク質の情報伝達機能. *化学* **66**, 68-69 (2011).

[3] Saito, H., Ando, I. & Naito, A. *Solid State NMR Spectroscopy for Biopolymers. Principles and Applications*. 1-464 (Springer, 2006).

本文中には引用箇所の右肩に角括弧を付けた数字で示して下さい。

2012 年 10 月 22 日制定

2014 年 9 月 30 日改訂

2021 年 8 月 5 日改訂

2022 年 10 月 21 日改訂